

2023年7月26日

株式会社毎日放送

各位

社長記者会見を開催しました

本日、当社代表取締役社長の虫明洋一と、MBS メディアホールディングス代表取締役社長の高山将行が出席し、記者の皆さんと対面形式で会見を実施しました。記者会見での発言概要は、以下の通りです。

むしあきよういち

【毎日放送 虫明洋一社長あいさつ】

報告すべきことが3つ。ひとつ目は、4月1日に、放送基準を改訂しました。昭和33年以来です。若いメンバーで大いに議論しました。2つ目は、らいよんチャンが勤続20年を迎えて、わが社を背負って全く老いることなく頑張ってくれていることに感謝。3つ目は、社内の色々なところが動き出したのかと。番組のロケや取材もだんだん外を意識するようになり、イベントも活気を帯びてきました。阪神タイガースがすごい勢いで、いい意味での熱さを醸し出してくれているかと思っています。

たかやまさゆき

【MBS メディアホールディングス 高山将行社長あいさつ】

4月に新劇場「Sky シアターMBS」の記者会見に多数ご来場いただき、有難く存じ上げています。こけら落としの内容をお伝えしたこともあるのですが、久しぶりのリアルに対する期待感も含めまして、来年春の開業に向けて、引き続き応援していただけたらと思います。

【主な質疑応答】

Q. 「あれみた？」の今後の展開は？

A. 週3回、月～水の深夜、若いスタッフが約10分の短いコンテンツを作っています。これまでコンテンツを作ったら、まずは番組ありきでしたが、その先を見据えて配信に適した短めのものを量産しようという考えです。まずは配信でものをつくって、結果的にそれが番組で放送されるような流れもあってもいいかと思っています。

Q. 総合技術局が出展した技術が好評だったが、異業種にも広めていく考えは？

A. 技術は、放送業界とその周辺のものだと何となく思っていたんですが、総合技術局の若手社員たちが、当社で培った新たな技術を世間の色々な人に見ていただいて、何かビジネスの種にならないかと動き出したことはすごく嬉しいです。グループ全体でもビジネスのアイデアコンテストをやったり、新規ビジネスに向けて色々やっています。

Q.2022年6月1日にオートノミーセンターが発足して1年以上経ったが、どう変わったか？

A. それまでは、どちらかといえばほぼ番組ができあがった状態で相談があったけれども、企画立案段階から、社内だが第三者の意見を聞いた上で、番組の企画を進めていき、早いところでリスクの種類があるなら防止したいと考えています。番組のプロデューサーやディレクターが試行錯誤を重ね現場で解決して、信頼される放送をお届けするのが理想だと思いますが、まだ、オートノミーセンターがなかなか忙しい状況で進行しています。

以上

本件問い合わせ先:広報部